

様式4

令和4年度 第2回学校運営協議会評価報告書

鳥取県立鳥取養護学校

学校長 中 谷 由 美

評 価 日	令和5年3月3日（金）
評 価・提 言	学校の所見・改善策
1 重点目標の達成状況について ・中間評価より評価が向上しており学校の努力がうかがえる。 ・重点目標を一つに絞って取り組んでいくことも必要ではないか。 2 目標達成のための取組結果について ・中間評価と内容が変わらないものがある。評価が共有されて引き継がれることを期待する。 ・具体的な実践回数や生徒の具体的変化が記載されているところがありよい。 ・児童生徒の姿が語られる評価がわかりやすいのではないか。 3 具体目標の達成状況について ・ヒヤリハットを伝える雰囲気在今后も維持発展させていきたい。 ・ICT 機器の導入による教育手法が生徒のモチベーションアップに繋がる。教職員も研修を積んでほしい。 4 目標達成のために取り組んだ具体方策について ・卒業後について、本人、保護者に多様な情報の提供を適宜行っていただけることを願う。 ・進路決定については、多くの情報を得て選択することが大切。 5 その他 ・保護者連携の強化について、具体的な取り組みを入れるようにしてほしい。	・今後も複数の重点目標を設定することになるので、目標同士のつながりを分かりやすくし、複数の目標でも具体的な一つのことに向かっている意識を高めたい。 ・今年度の反省を必ず次年度の目標設定に入れ込む。 ・評価の際に、具体的な児童生徒の姿を記載できる目標も考えていく。 ・校内のデータベース等を活用しながら何かあったときだけでなく、何もないときにも意識を高められるような情報を提供していく。 ・ICT 機器の研修を年間の予定に位置づけ、職員のスキルの向上を行う。 ・保護者のニーズを聞き取りながら進路研修等進めることができたので、今後も情報収集を行いながら実施していく。 ・3年間、保護者の集まり等が行えなかったもので、様子を見ながら保護者同士が関わる機会を設定していきたい。